

令和7年度校内研修実施要項

企画研修部

1 授業研究テーマ

学校みんなできとくむ新しい授業改善
～主体性を引き出し「なぜ学ぶのか」自覚させる工夫～

R7 新屋高校学校経営方針

5 具体的な取り組み～「本気で挑戦し続ける新屋高校」実現のために～より

(2) 授業改善と学力向上について

- 組織で取り組む授業づくり。教科横断型を意識。
- ICTの効果的な活用（Chromebook、クラスルーム、スタディサプリ等）
- 生徒が「もっと勉強したい」と思うような「しくみ」「しかけ」「しつけ」の工夫
「なぜ学ぶのか」を自覚させる工夫

2 目的

- ・生徒が主体性を発揮し、「なぜ学ぶのか」自覚できるような授業改善を図る。
- ・従来の授業研修の方法を見直し、授業動画の視聴を主に「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の3つの授業改善の視点（@国立教育政策研究所）から授業者、参観者ともに教科横断的に授業改善を図る。

3 実施日時 ◎授業録画 10月 △授業視聴 11月 ●入力完了 12月

4 実施計画

- (1) 授業録画 授業者は、10月中に動画を録画する。画面に生徒と授業者及び黒板、電子黒板等、使用機材が写るようにタブレットを設置する。
- (2) 動画公開 授業者は、以下のGoogleスライド内に動画をアップし、Googleスライドの「日々の授業についての自身の課題」「この授業で意識した授業者の視点」を入力する。
- (3) 動画視聴 参観者は授業動画を視聴し、Googleスライドの「授業者への質問」「良い点（授業者・学習者）・気づき」「授業者への応援メッセージ」を入力する。
- (4) 授業者振り返り 授業者はGoogleスライド「次に生かしたいこと」を入力する。
- (5) 参観者振り返り 参観者は、Googleスライド「参観者自身の気づき」に、気づいたことを自教科でどのように生かしていくかを入力する。

【参考】

項目	記入者	ねらい
0 「日々の授業」について、今のご自身の課題を入れてください	授業者	授業者の課題を、グループ内で共有する。
1 授業動画を入れてください ※Google ドライブの動画 URL を貼る	授業者	必要な場面を繰り返し確認することができ、対話とメタ認知を促進する。
2 この授業で意識した授業者の視点	授業者	本時のねらいや引き出したい生徒の学びの姿を基に、授業者の視点を自己決定し、教科を越えて共有する。
3 授業者への質問	参観者	対話型学習アプローチにより、授業者の気づきを促す。
4 よい点（授業者・学習者）の気づき	参観者	肯定的なフィードバックを行うことで、授業者の気づきを促す。
5 授業者へのラブレター	参観者	個人内評価を行うことで、授業者のよさや可能性を認める。
6 次に生かしたいこと	授業者	新しい課題を可視化し、次の授業改善に向けた探究的な学びを促進する。
7 授業を見たり、グループでの対話等を通したりしての参観者自身の気づきを、自教科でどのように生かしていこうと思ったか、お一人ずつこちらに記入してください	参観者	概念を具体化することで、学びを自分ごと化する。

(茨城県教育研修センター資料より)

5 校内研究授業のローテーションについて

実施年度	科 目
令和5年度	商 業 ・ 家 庭 ・ 英 語
令和7年度	芸 術 ・ 情 報 ・ 数 学
令和9年度	保健体育・国語・理科・地歴公民

6 参考事例

茨城県教育研修センター『イイナコネクトプロジェクト』

<https://padlet.com/ibarakyouka3213/padlet-2sfo0oyxd8or2m70>